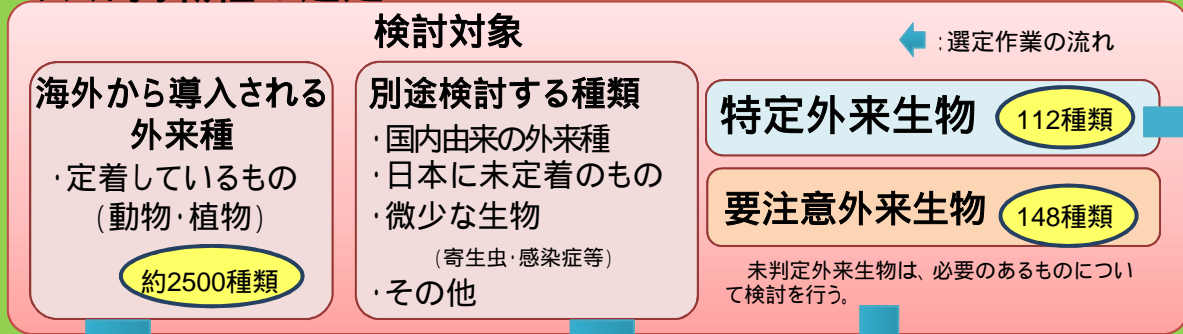


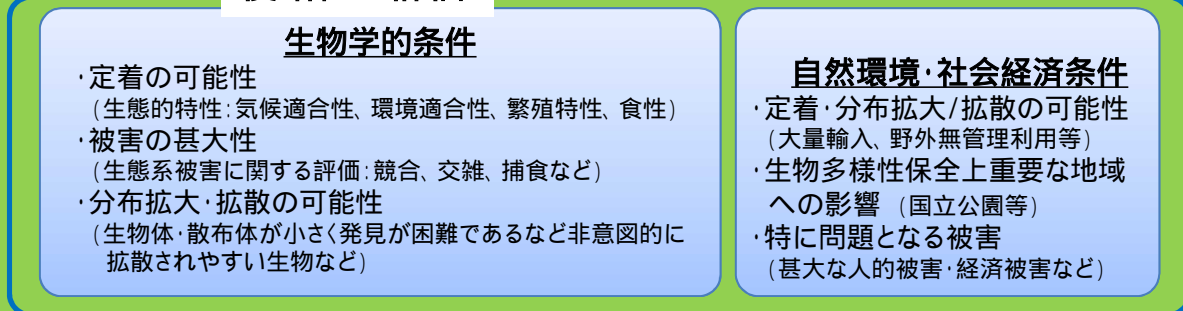
# 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト 作成手順の流れ(案)

添付資料2 - 2

## リスト掲載種の選定



## 侵略性の評価



## 我が国の生態系等に被害を及ぼす外来種リスト

400~500種類程度



### リスト作成による効果を得るため付加・整理

- < 対策の方向性によるカテゴリ >
  - ・「定着を予防する外来種」: さらに「侵入予防種」を特記
  - ・「総合的に対策が必要な外来種」: さらに「重点対策種」、「緊急的防除種」を特記
  - ・「適切な管理が必要な産業上重要な外来種」
- < 定着段階の区分 >
  - ・「未定着」「侵入初期」「分布拡大～まん延期」の3区分、
  - ・感染症・寄生生物・小笠原諸島・南西諸島
- < リストの作成 >
  - ・カテゴリ区分・国指定の状況・侵略性に係る情報(被害、利用等)
- < 付加情報の整備 >
  - ・基本情報(名称、原産地等)・侵略性に係る情報(被害、利用、定着状況等)
  - ・対策に係る情報(方向性等)

### リスト作成により期待される効果

- ・各主体のより積極的な参加・協力の促進
- ・調査研究、モニタリングの実施や防除等の外来種対策の普及・促進  
(防除の優先順位づけにも活用: 各主体における対策においては、本リストを基礎資料とし、「外来種被害防止行動計画(仮称)」に示した対策の優先度の考え方に沿って検討する)
- ・リスト掲載種の利用抑制・適切な管理
- ・特定外来生物への追加指定の基礎資料
- ・地方版外来種リストの整備の促進

## 継続的なリストの見直し・追加

- ・新たな外来種の侵入
- ・新たな科学的知見の集積
- ・分布状況の把握

見直し作業